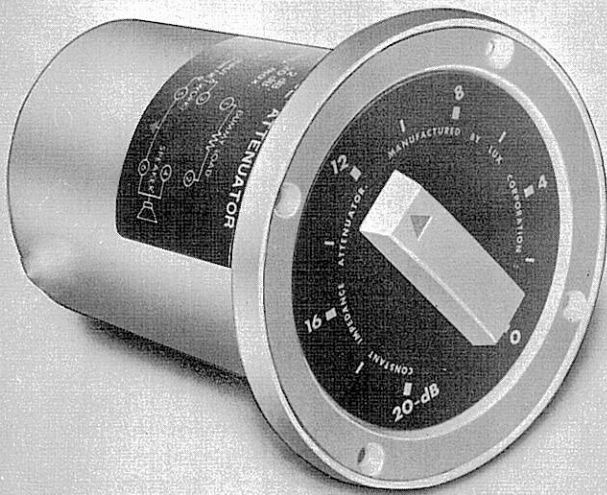


# 定インピーダンス型アッテネーター

スピーカー・レベルコントロール用 MODEL AS-6 ¥3,900



マルチウェイ方式のスピーカーシステムでは、これを構成する各ユニットの能率差が問題になります。各ユニットの音響出力を揃えスピーカーシステム全体のバランスをとらなければなりません。このためには、レベルコントロールが必要です。これをアッテネーターと呼んでいます。一般的には、ウーハーがもっとも能率があるので、能率のよいスピーカー・ツイーターのレベルを下げて、システム全体のレベルを揃えます。

このレベル調整にも、いろいろな方法があります。2連ボリュームによる定抵抗L型、あるいはロータリースイッチ式の精密級定抵抗L型などです。しかし、これらの方式は、再生音に対して必ずしも無害なものではありませんでした。AS-6型は、定インピーダンス方式による、音質を全く損わない画期的なアッテネーターです。

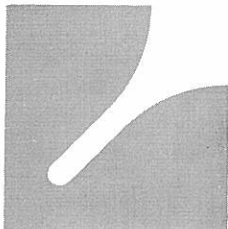
## ■正確な減衰量

2dB ステップの11段切換方式です。本機では、定抵抗型アッテネーターの宿命——周波数によるスピーカー・インピーダンスの変化に伴う、減衰量の偏差やうねりがなく、つねに一定の減衰量が得られます。

## ■大きい取扱容量

本機の取扱容量は、付属しているダミーロード抵抗(容量は5W)を接続したときのミュージックパワーが50W、このダミーロード抵抗に10Wのものを接続すれば、100W(最大)のミュージックパワーが扱えます。本機に、連続して定振幅信号を入れることのできる限度は50Wです。

LUX CORPORATION



## ■低歪率

一般に鉄芯入りのトランスでは、歪みが問題になります。しかし本機では図(1)に示すように歪率は200Hz・100W(16Ω負荷)のときでも0.11%と極めて低く、負荷が8Ω、4Ωのときにはさらに低くなります。

1KHz、10KHzの歪率も100Wまで0.06%と、測定アンプの残留歪率に埋れてしまって測定ができないほどです。気になる歪みの発生は完全に解消されています。

## ■小さい内部抵抗

スピーカーに直列あるいは並列に入る抵抗が極めて小さいので(減衰量的位置には関係なく)、本機を接続してもアンプのダンピングファクターは劣化しませんし、スピーカーのダンピング特性も変わりません。

## ■スピーカーを選ばない

本機は、4Ω、8Ω、16Ωいずれのスピーカーにも使用することができます。付属のダミーロード抵抗の値を使用するスピーカーのインピーダンスに合わせて使います。

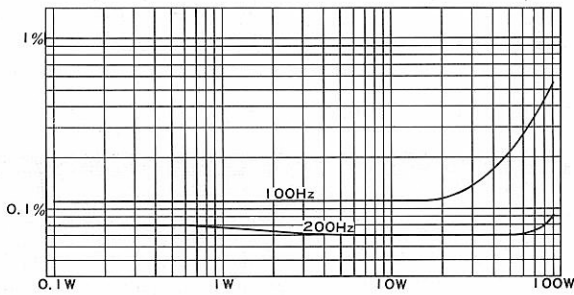
## ■理想的な定電圧駆動

どの減衰量位置でも、本機は、スピーカーを定電圧で駆動させます。図(2)の減衰特性のように、スピーカー・インピーダンスの変化によるレベル変動がありません。デバイディング・ネットワークに対して、ほとんど一定の負荷となりますので、クロスオーバー周波数の移動がなく、遮断特性は基準値で動作し、理想的なレベル・コントロールが行えます。

## ■インピーダンスの変換が可能

マルチウェイ方式のスピーカーシステムを構成する各ユニットのインピーダンスが異なるとき、デバイディング・ネットワークに完全な動作をさせるには、インピーダンス変換トランスなどが必要です。このインピーダンスの都合はなかなか困難ですが、本機には、インピーダンスの変換機能も加えることができるので(別仕様)、インピーダンスの異なるユニットを混用するシステムにも重宝です。

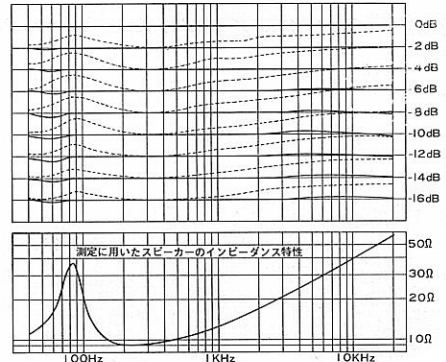
歪率特性(図1)



\*ここに示した歪率特性は、本機を16Ω負荷で使用したときのもので、測定に用いたアンプは、ダンピング・ファクターが16Ωに対して10、残留歪率は0.06%です。

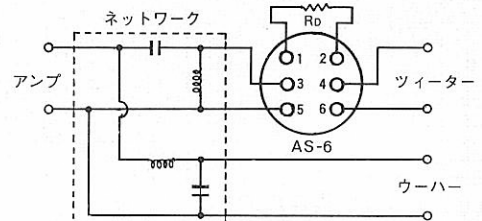
減衰特性(図2)

\*この減衰特性は、下に図示したインピーダンス特性のスピーカーを新方式アッテネーターと抵抗による精密級定抵抗L型アッテネーターと比較測定したものです。(実線は新方式定インピーダンス型減衰器特性、点線は精密級定抵抗L型減衰器特性です。)



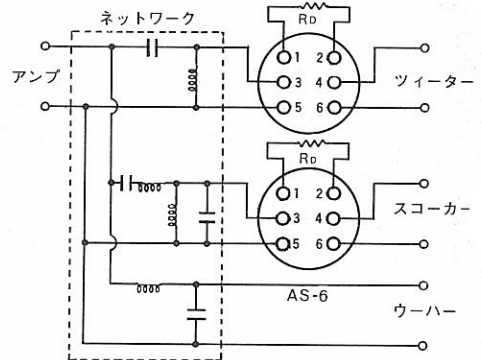
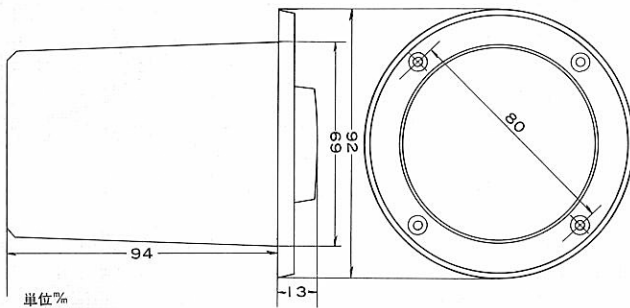
## 使用方法

- 図(3)、図(4)は、一般によく用いられる並列型のマルチウェイ・システム回路です。図(3)は、2ウェイ・スピーカーシステムのツイーターに、図(4)は、3ウェイ・スピーカーシステムのツイーターとスコーカーにAS-6を用いた接続方法です。
- 端子1、2間に接続するダミーロード抵抗は、組合せるスピーカーのインピーダンスに合わせなければなりません。附属のダミーロード抵抗は8Ωですから、直列で16Ω、並列で4Ωとして用いてください。8Ωのスピーカーには一個だけ使用してください。



【図3】2ウェイ スピーカーシステム回路  
RDはダミーロード抵抗

## 寸法図



【図4】3ウェイ スピーカーシステム回路  
RDはダミーロード抵抗

## 規格 (4Ω、8Ω、16Ωのスピーカーに共通)

型名	取扱容量	減衰量	1ステップ減衰量	使用周波数範囲	附属ダミーロード抵抗
AS-6	50W以下	-20dB	2 dB	100Hz~30,000Hz	8Ω(5W)2個

お求は誠実な当店で

**株式会社**

本社・工場 大阪市西成区長橋通2-22 電話 大阪 632-0031 (代)  
支社・試験室 東京都台東区東上野2丁目18共同ビル10階 電話 東京 833-7691 (代)  
営業所・サービス課 東京都千代田区神田神保町3-4 電話 東京 261-9694・4588